2010年度大学入試センター試験　解説〈地理B〉

【第 1 問】 世界と日本の自然環境

例年通り第1問は自然環境に関する出題である。2009年度に設問数が増えて8問になったが，本年度は2008年度以前の6問に戻った。**A**で世界全図から３題，**B**で日本とその周辺から３題と，バランスを取った内容になっている（なお，この**B**のためもあって本年度は日本に関する問題数が例年より多くなっている）。気候に関する問２と問４は，いずれもグラフの判定に手間のかかる問題で，冷静な対応が求められる。他の地形や植生に関する設問は，いずれも容易で，全体としての難易度は標準的であった。

問１　正解（適当なもの）は①

A高原は**ブラジル高原**である。同大陸北部のギニア高地とともに，先カンブリア時代（最も古い地質時代）以来の造陸運動で作られた**楯状地**（安定陸塊にみられる基盤岩が露出する低平な地形）が分布する。

②　誤文。**B**山脈（ウラル山脈）は**古期造山帯**なので，中生代以降は活発な隆起運動がみられない。

③　誤文。**C**川（ガンジス川）の河口付近には，運搬された土砂が堆積した大規模な**三角州（デルタ）**がみられる。扇状地は谷口にみられる堆積地形で，山地から遠い河口にはみられない。

④　誤文。**D**島（タスマニア島）は，オーストラリア大陸東部を走る**古期造山帯**の延長にある。火山活動が盛んなのは新期造山帯である。

問２　正解は②

Fの線上の4地点の気候は，以下の特徴を持つ。

アは**地中海性気候**であり，夏に乾燥し冬に湿潤する。そのため7月の降水量は少ない。

イは**砂漠気候**であり，降水量は年中少ない。

ウは**熱帯モンスーン気候**であり，冬に弱い乾季を持つが夏の降水量は多い。

エは**熱帯雨林（またはサバナ）**気候であり，いずれにせよ夏の7月は多雨である。

したがって，**F**の線上の7月は，**ア・イ**の降水量が少なく，**ウ・エ**の降水量が多い。

①　**ア**の降水量が多く，**ウ**や**エ**が乾季の少雨傾向を呈しているので，**F**の1月である。

ここで，③・④は**G**の線上とわかるが，**G**の**エ**（ケープタウン）は地中海性気候である。

③　**エ**の降水量が多く，冬とわかる。南半球は北半球と季節が逆なので，**G**の7月に該当する。

④　**エ**が乾燥しているので，南半球の夏である。よって**G**の1月である。

なお，**G**の**ア**～**ウ**はサバナ気候である。

問3　正解は⑤

写真**カ**は，枝を広げた**広葉樹**などの多様な植生をもつ**密林**であるから，**熱帯雨林気候**の地点**L**に該当する。

写真**キ**は，高峻な山岳地帯と**針葉樹の純林（タイガ）**であるから，ロッキー山脈が走るうえ**亜寒帯（冷帯）気候**を呈する地点**J**を示している。

写真**ク**は，乾燥した大地とまばらなサボテンのような植生であり，**砂漠（またはステップ）気候**の分布する地点**K**とわかる。

問4　正解は②

S地点（ラサ）は**チベット高原**上にあり，夏の多湿な南西からの季節風（モンスーン）がヒマラヤ山脈にさえぎられるため**年降水量は少なく**，比較的低緯度に位置するため**気温の年較差は小さめ**である。

①　気温の年較差が4地点中最小で，年降水量が多いため，温暖湿潤気候の**U**地点（タイペイ）とわかる。

③　年降水量が1000mm強で，気温の年較差がやや大きいため，亜寒帯（冷帯）湿潤気候の**Y**地点（札幌）である。

④　降水量が少ない乾燥した気候であり，気温の年較差が大きいという大陸性の特徴を呈しているため，**T**地点（ウランバートル）と判定する。

問5　正解は①

サ　**褐色森林土**は、日本の本州のような比較的温和な**温帯**の落葉広葉樹林帯にみられる。

シ　**ポドゾル**は，樺太のような**冷帯**のタイガ地域にみられる酸性の灰白色土壌である。

ス　**ラトソル**は，ルソン島のような**熱帯**に分布する赤色のやせた土壌である。

サ～**ス**のように気候・植生の影響を受けて生成された土壌を**成帯土壌**という。

問6　正解（適当でないもの）は②

海波などによる**侵食作用**によって生成した岩石海岸では，侵食による海食崖が隆起によって海岸段丘の段丘崖になる。**堆積作用**の活発な海岸では，砂嘴・砂州などが形成されやすい。

①　正文。「隠顕岩」（右図参照）などの地図記号から，**岩石海岸**で

あることが読み取れる。

③・④　正文。**海岸段丘**は，海底でできた平坦面と海岸の海食崖が，**隆起**の繰り返しによって階段状の地形となったものである。なお，**沈降**によって生じる海岸地形としては，リアス式海岸・エスチュアリー（三角江）・フィヨルドなどがあげられる。

【第２問】　地域調査（山形県最上地域）

2009年度に引き続き，地域調査に関する大問が第2問に置かれた。地域調査に関する問題では，地形図の読図，地図の利用，統計などの読み取りといった内容のほか，日本地誌に関する設問もみられる。問１・３・６のように地理的な知識の有無と関わりなく解答可能な設問もある一方，地形図の読み取りに関する問４・５のようにやや時間のかかる問題もあった。ただし，大問全体としてはやや易のレベルである。

問１　正解は①

図3の鳥瞰図では，向かって右奥に最も高峻な山岳地帯が見える。これを手掛かりにすると，図2の範囲**ア**の中では南西の等高線が密になった地域がこれにあたることが分かる。この地域を「右奥」に置くには①の方向から見ればよい。

問２　正解（適当でないもの）は③

やませとは，**初夏**のころに**東北地方の太平洋側**に吹く北東風のことである。太平洋を南下する寒流の親潮（千島海流）の影響を受けて**冷涼湿潤**なため，農作物の生育を妨げる**冷害**の原因となる。したがって，日本海側の山形県には関係がない。

④　正文。屋敷林は，冬の季節風が吹きつける北西側にだけ設けられる場合が多い。

問３　正解は③

図4のうち，**カ**と**キ**は**階級区分図**，**ク**は**図形表現図**であり，それぞれ相対分布図，絶対分布図に分類される。表1の３項目のうち，「**野菜の産出額**」が最も絶対分布図に適している。さらに真室川町の数値が鮭川村や舟形町の数値よりも大きくなっているのは**ク**だけである。次に，いずれも相対的な数値を示す「15歳未満人口割合」と「人口密度」の区別をすると，新庄市のみが突出する**カ**が「**人口密度**」，最上町が鮭川村などと同程度の数値を示す**キ**が「**15歳未満人口割合**」に該当する。

問４　正解（適当でないもの）は③

600ｍの距離は**5万分の1地形図上**においては，600×100÷50000＝**1.2cm**で表されるが，「共栄」から1.2cm南（地図の下方向）の位置は，「共栄」と標高の等しい同じ段丘面上に位置する。Ｋの記号がある丘陵地までは地図上で約2cmあり，実際の距離は2×50000÷100＝1000ｍとなる。

①・②　正しい。図域を東から西へ流れる金山川沿いの平地には水田（田）の記号が見える。しかし，その南北を通る等高線の上は畑や樹林の記号が目立っている（共栄集落は，その畑に囲まれた位置にある）。このような土地利用の違いから，金山川沿いの低湿な**氾濫原**と，高燥な**河岸段丘**の段丘面を読み取ることができる。

④　正しい。5万分の1地形図では主曲線（細実線）は20ｍごと，補助曲線（点線）は10ｍごとに引かれる。共栄集落は，そのすぐ南側の補助曲線から**標高約110ｍ**である。新田平岡集落は，そのすぐ北側の丘陵地にある計曲線（太実線）が100ｍを表すことから**標高約80ｍ**である。

問５　正解（適当でないもの）は③

新図のＬ地点付近には「荒地」　ılı　の記号は見えるが，「竹林」　ᐢ　の記号はない。

①　正文。ため池の拡張や灌漑用水路の整備などが進んだことが推測される。

②　正文。新図には「町営放牧場」の文字が見える。畑の地図記号には「牧草地」の意味もある。

④　正文。は「土堤」（土の堤防，土手）を表す。

問６　正解（適当なもの）は④

④　正文。第2次産業の就業者数が第1次産業の就業者数を上回った時期は，男性では1985～90年頃，女性では1975～80年頃で女性の方が早い。

①　誤文。第2次産業の就業者数は，男性は2000～05年頃，女性は1990～95年頃に減少し始めた。

②　誤文。第1次産業の男性従業者数は，1960年には約2700人，1980年には約1500人で，半減以下とはいえない。

③　誤文。1985年と1995年を比べると，第2次産業の女性従業者数は減少している。

【第３問】 世界の資源・エネルギーと産業

第3問は産業分野からの出題である。2009年度は農林水産業が主題であったが，本年度は資源・エネルギーと工業の分野からの出題となった。問４は，近年の出題例に乏しい組み合わせ式４択の設問である。組み合わせ式の6択や8択などは難易度が上がるため，４択は今後は増える形式かもしれない。問５・６の統計地図を利用した設問の難易度が高く，特に問６は多くの受験生が迷ったのではないかと思われる。

問１　正解は⑤

ア　**天然ガス**資源に乏しいドイツや日本などの先進工業国が上位にあることから，**輸入量**である。特に日本は天然ガスの海外依存度が96%である（2006年）。

イ　輸入量第1位のアメリカ合衆国が2位にあることから，輸出量とは考えにくく，**産出量**とわかる。アメリカ合衆国は1国でヨーロッパ全体を上回る国内供給量を必要としており，自らの生産だけでは足りず大量輸入で補っている。

ウ　**輸出量**であり，パイプラインで結びついた近接する先進国への輸入が可能な生産国が上位にくる。

問２　正解は②

ロシアは世界最大の産油国であり，問1でみたように世界最大の天然ガス産出国でもある。したがって，それらを燃焼させる**火力発電**の割合が高い。また，シベリアのアンガラ川水系で行われている**水力発電**も盛んであり（ブラーツクダムなど），この電力はシベリア開発に利用されている。さらに，アメリカ合衆国との核開発競争の過程で，核燃料を利用した**原子力発電**も発達しており，出力において日本に次ぐ世界第4位の国である。

①　**水力**が中心なので，**カナダ**に該当する。他に水力中心の国として，ブラジル，ノルウェー，ニュージーランドなどがある。

③　8割近くを**原子力**が占めることから，**フランス**とわかる。頻出事項である。

④　9割以上が**火力**なので，石炭産出国の**オーストラリア**である。同様に石炭火力の割合が高い国として中国があげられる。

問３　正解（適当でないもの）は③

レアメタル（希少金属）の産業利用は，ＩＴ機器の微細な部品の素材のように回収が困難な場合が多い。したがって，「リサイクルが容易」とはいえない。また，世界的な需要増によって，レアメタルの採掘は年々盛んになっている。

①　正文。例えば航空機などの構造材となるチタンは，地殻内に存在する元素としては9

番目に多く，供給量との関係ではほぼ無尽蔵ともいえる量が存在している。しかし，純度の高い金属チタンを精錬する実用的な技術が確立していないため，製造コストが非常に高く，結果として「レア（希少)」となっている。

② 正文。南アフリカ共和国，中国，オーストラリアなどに偏在するレアメタルが多い。

④ 正文。②で述べられたような偏在性は，レアメタルの安定的な供給を困難にする。

問4　正解は①

カ　**セメント**は**石灰石**を主原料に，石炭で焼成して製造する。その過程で使用する原料・燃料に比べ，製品の重量が軽くなる重量減損原料を用いるため，**原料産地**に近接して立地した方が輸送コストは低減できる。

キ　生産コストに占める労働費の比重が大きい**労働集約型工業**の典型は，**衣服製造業**のような繊維産業や，電気機械の組み立て工業などである。

問5　正解は⑥

サ　中国に生産量が集中しているほか，日本，アメリカ合衆国，韓国，ドイツなどの工業国でも生産されていることから**粗鋼**とわかる。1980年代までは旧ソ連，1990年代前半は日本が世界一の粗鋼生産国だったが，21世紀に入り中国が驚異的に生産量を伸ばしている。2008年の中国の粗鋼生産量は2000年の約4倍であり，世界生産の4割近くを占める。

シ　中国，インドの他，東南アジア諸国に生産が集中していることから**自動二輪車**とわかる。自動車に比べると，工業技術の未発達な国でも生産が可能である。

ス　日本，アメリカ合衆国，ドイツなどの先進工業国での生産が多いことから**自動車**とわかる。近年は，韓国，ブラジルの他に中国でも生産が増えつつある。

問6　正解は②

中国における**家庭用冷蔵庫**などの電気機器の生産は，はじめは日本などの先進国企業の進出によって行われたので，その受け入れ地である**経済特区**（シェンチェン〔深圳〕など）がおかれた華南の**コワントン〔広東〕省**に集中した。現在では経済成長による需要の増加と，中国企業の技術的成長によって，華中・華北の大都市周辺での製造も増加している。

① 人口の集中する東部・沿岸部の各省にまんべんなく分布していることから，消費地の近くで生産される**ビール**と考える。普遍原料である水を使用し，瓶詰めすることで製品の重量が重くなるビール工業は，市場指向型立地の典型である。

③　砂糖のおもな原料である**サトウキビ**は，熱帯性の作物（日本では沖縄と奄美大島で栽培される）であり，重量減損原料を使用する（大量の搾りかすが出る）ので，華南の原料産地に生産が集中する。北部の産地は，テンサイを原料とした地域であろう。

④　華北（ペキン周辺）から華中（シャンハイ周辺）にかけての地域に集中し，東北（アンシャン周辺）にも分布することから，**銑鉄**と判断できる。

【第４問】　都市と村落，生活文化

大問内が**A**と**B**に分かれており，**A**では2009年度と同じ集落（都市と村落）をテーマとし，**B**では生活文化が取り上げられた。問２では河川流域の都市に関する知識を求められたが，正誤判定の内容はやさしい。問４・６の統計グラフを用いた問題はやや難しい。特に問６における誤文の判定は統計の内容とは関係のない知識事項であり，迷いやすいだろう。

問１　正解は③

アフリカでは，第二次世界大戦後に**人口爆発**とよばれる急激な人口増加がみられた。現在でも，世界でもっとも人口増加率の高い地域である。多くのアフリカ諸国にとっての主要産業は現在も第一次産業であり，農村部では労働力として子どもが求められるため出生率が高い。ここでの乳幼児死亡率の低下が人口爆発に結びついた。こうして生じた農村部の余剰人口が押し出される形で都市部に流入したため，二次的に**都市人口も増加**した。以上からアフリカの都市人口は③，農村人口は①となる。

一方，**ヨーロッパ**では産業構造の変化によって，第1次産業が衰退し，第2次・第3次産業人口が増加，これが農村人口の減少と都市人口の増加に結びついた。しかし，少子化と高齢化の進展により，都市部においても人口は停滞している。以上から，ヨーロッパの都市人口は②，農村人口は④となる。

問２　正解（適当でないもの）は②

メキシコ湾岸は**油田**の集まる地域であり，石炭産地は見られない。石炭は古期造山帯であるアパラチア山脈周辺に多い。**ニューオーリンズ**は南部の綿花地帯を背景に，アメリカ合衆国最大の綿花積出港として発達した。

①　インドの**ヴァラナシ**は，インドの主要宗教であるヒンドゥー教だけでなく，仏教・ジャイナ教の聖地でもある。

③　タイの首都**バンコク**は，第2位都市との人口規模の格差が大きい首位都市（プライメートシティ）であり，環境悪化や交通渋滞などの都市問題が生じている。

④　ブラジルの**マナオス**は，かつて天然ゴムの集散地として栄えたが，近年は自由貿易都市として空港を中心に先端産業の集積が進んでいる。

問３　正解（適当なもの）は②

集村は最も一般的で自然発生的な集落の形態である。家屋が集中しているため，農業における共同作業に適し，防御機能も持つ。特にドイツからポーランドにかけての中世の開拓村落では，広場を中心に家屋が集まる集村の一種である円村の形態をとるものが多い。

①　誤文。日本の山間部では，わずかな平地の条件の良い地点に家屋が集まるため，大部分が集村となる。**散村**は富山県の**砺波平野**や北海道の屯田兵村など，水利などの自然条件や，歴史的・社会的条件をもった特定の地域だけにみられる。

③　誤文。日本の食料自給率は高度経済成長期に著しく低下し，今も先進国中最低レベルである。この間，都市部への人口流出により農村部では**人口の減少傾向**が続いた。また，農業従事者の所得は相対的に低く，他産業との兼業農家が中心である。

④　誤文。問1でみたようにヨーロッパの農村人口は減少を続けている。共通農業政策により生産が増大した地域はあるが，機械化などによって労働生産性（農民1人あたりの生産量）が高まったのであって，農業従事者が増加したわけではない。

問４　正解は④

住宅団地の開発当初は，20～30代の勤労者が持ち家を求めて一時期に大量流入したが，この世代の人たちが現在50～60代となり，「ニュータウンの高齢化」を迎えている。

①　20代前半の男子が突出していることから，男子学生中心の大学の存在がうかがえるので，Ｃ地区が該当する。

②　30年前のＤ地区と同様に，高層マンションを購入した人々が大量に流入したと考えられるので，Ａ地区が該当する。

③　長い街の歴史から高齢化も進んでいるが，男性を中心とした若い工場労働者も多いので，Ｂ地区が該当する。

問５　正解（適当でないもの）は③

西アジアでもっとも広く信仰される**イスラム教**では，**豚**を不浄な動物として豚肉食を禁忌（タブー）としており，「家禽の肉」と宗教は無関係である。

①・②　正文。肉類（とくに牛肉）は，多くの穀物を飼料にして生産されるため，その消費は経済力の高い先進国中心である。

④　正文。混合農業では，穀物と牧草や飼料作物を輪栽し，商業的に家畜を飼育する。

問６　正解は②

韓国の労働時間の長さは，終身雇用制を背景にした労使関係や企業別労働組合の交渉力の低さなど，日本と同様に制度的・社会規範的な要因によるものであって，1980年代以前からの問題である。経済成長の影響による労働時間の変化はみられず，むしろ80年代後半から労働時間はやや低下傾向にある。

①　正文。**ワークシェアリング**とは，各々の労働時間を短くすることなどにより勤労者同士で雇用を分け合うことである。雇用を維持し，失業を減らすことができる。

③　正文。日本の労働時間は以前に比べ短縮が進んだが，ヨーロッパ諸国と比べるとまだ長い。

④　正文。ポーランドは旧社会主義国であり，東欧革命以降に市場経済化が進んだが，西ヨーロッパ諸国との格差は未だ大きい。

【第５問】 ヨーロッパの地誌

2009年に引き続き，第5問に地誌問題がおかれた。大問レベルの地誌問題の地域としてヨーロッパが扱われるのは2004年度（地中海の地誌）以来であった。とはいえ，ヨーロッパは高校の授業で扱われやすい地域である。また，系統地理の学習でも例としてよく取り上げられる地域であるため，地理学習者にとってはなじみ深く，受験生が戸惑うことはなかったと思われる。いずれの設問も標準的なレベルで取り組みやすい問題だったので，取りこぼしを避けたいところである。

問１　正解は⑤

ア　1500ｍ以上の高山地帯の割合が高いことから，新期造山帯の**アルプス山脈**の東側に位置するＣの**オーストリア**が該当する。

イ　それほど標高の高くない山地と低地がみられることから，低平な古期造山帯のスカンディナビア山脈の走るＡの**ノルウェー**が当てはまる。

ウ　国土の大部分が標高500ｍ未満の低地であることから，安定陸塊の東ヨーロッパ平原に位置するＢの**ポーランド**に該当する。

問２　正解は③

クは**ウクライナ南部**を指す。黒海北岸からカザフスタンの草原地帯（カザフステップ）にかけての帯状の地域は，半乾燥の気候の下で肥沃な**黒色土（チェルノーゼム）**の分布する**小麦**の穀倉地帯である。

①　地中海性気候と，それに合わせた**地中海式農業**を説明しているので，**ケ**（スペインのバレンシア地方）に該当する。

②　ツンドラの植生と，それに適合した**遊牧**について述べているので，**カ**（スウェーデンのラップランド）のことである。なお，ラップランドはスウェーデンの他，フィンランド，ノルウェー，ロシアにまたがる。

④　大都市圏に近く，氷食地形（モレーンなど）での**酪農**をおこなっていることから，**キ**（デンマークのユーラン半島）に当てはまる。

問３　正解は⑥

E　ドイツ北西部の**ルール工業地域**では，付近のルール炭田で産出された石炭とライン水運を結びつけて鉄鋼業などが発達した。近年は電子工業なども立地している。

F　**チェコ西部**の首都プラハ周辺の地域では，伝統的なガラス産業（ボヘミアングラス）・繊維産業・ビール工業などが発達してきたが，近年は安価で優秀な労働力を求める海外企業の進出により自動車産業などがみられる。

G　**イタリア北部**のポー川流域にみられる「第三のイタリア（サードイタリー）」とよばれる地域では，中世以来の伝統技術を持つ職人が集積し，衣料・皮革・宝飾などの産業において企業間のネットワークを生かした近代的生産が盛んである。

問４　正解は①

P　**ベルギー**が貿易相手国の上位にあることから，地理的に隣接するオランダが該当する。

Q　**P・R**の両国にとって最大の貿易相手国であることから，ＥＵ域内貿易の中心国である**ドイツ**とわかる。

R　スペインが貿易相手国の上位にあることから，地理的に隣接する**フランス**が該当する。

問５　正解は②

タ　言語 **a** に関して，**X** 国（ベルギー）の北部フランドル地方では，隣接するオランダ語の方言であるフラマン語が用いられている。また，言語 **c** に関して，**Y** 国（スイス）のドイツ国境を含む大部分の地域ではドイツ語が用いられている。これらはヨーロッパ北西部に分布する**ゲルマン語**派の言語である。なお，言語 **b** はフランス語（ベルギー南部ワロニア地方ではフランス語の方言ワロン語），言語 **d** はイタリア語であり，いずれもヨーロッパ南部に分布する**ラテン語**派の言語である。

チ　**スイス**では，ドイツ語・フランス語・イタリア語およびレートロマン語（ロマンシュ語）を**公用語と**しており，各州の文化的独自性を尊重している。

（注）**X** 国（ベルギー）では，オランダ（フラマン）語，フランス（ワロン）語，ドイツ語を公用語としており，リード文は誤りである。

問６　正解（適当でないもの）は④

イギリスと**デンマーク**は，1993年のＥＵ発足時からの加盟国で，1人あたりＧＮＩ高位国であるが，自国の経済が他のＥＵ加盟国の影響を受けることを嫌い，**共通通貨ユーロには参加していない**。（なお，1995年に加盟した**スウェーデン**も参加していない。）

①　正文。ソビエト連邦（ソ連）の一部だったバルト3国や，ポーランド・チェコ・ハンガリーなどの中東欧諸国は，ソ連の影響のもとで社会主義体制をとっていたが，1980年代末の東欧革命とそれに続くソ連崩壊によって，体制が転換し，市場主義経済にもとづく自由主義国となった。

②　正文。ＥＵに加盟したスロベニアを除く，クロアチア・ボスニア=ヘルツェゴビナ・セルビア・モンテネグロ・コソボ・マケドニアなどの旧ユーゴスラビア諸国では，内戦や民族対立等による混乱が続いている。

③　正文。ＥＵ未加盟の高位国としては，アイスランド・ノルウェー・スイスなどのＥＦＴＡ（ヨーロッパ自由貿易協定）加盟国がある。

【第６問】 現代世界の諸課題

地球的な課題に関して，平均寿命，女性の地位，国際労働力移動，貿易，経済統合，情報格差についての雑題が並ぶ大問である。おもに統計を基にした出題となっており，標準的な総合問題である。問１・３の誤文判定では使われている語句一つ一つへの注意力が求められる。問５・６の統計判定はやや迷うところだが，問５ではシンガポールの１人あたりGNIが，問６ではタイの都市人口率の低さがポイントとなる。

問１　正解（適当でないもの）は①

ＣＩＳ（独立国家共同体）とは，ソ連崩壊を受けて旧ソ連を構成していたバルト3国を除く15共和国によって形成された緩やかな国家連合である。これらの国では，**政治体制・社会の激変とそれに伴う経済の混乱**によって平均寿命が短縮した。

②　正文。中南アフリカにはＨＩＶ（エイズ）ウィルス感染率の高い国が多い。

③　正文。西ヨーロッパや北ヨーロッパでは，財政的なゆとりが高福祉を実現した。

④　正文。安全な水へのアクセスが困難なため，衛生環境の悪い地域が残っている。

問２　正解は⑥

ア　合計特殊出生率が低位に集中しており，少子化の進む先進国の多い**ヨーロッパ**とわかる。

イ　合計特殊出生率が極端に高い国が多く，人口増加率の高い地域である**アフリカ**とわかる。女性労働力率と合計特殊出生率に緩やかな正の相関がみられる。

ウ　**アジア**には発展途上国が多いが，一部には工業化に成功した国もあり，それらでは出生率が低下している。

問３　正解（適当でないもの）は③

明治以降に日本からブラジルに渡った移民（日系人）は，主に**大農園の労働者**（コロノ）として移住しており，工業技術者としてではない。

①　正しい。サウジアラビアやクウェート，アラブ首長国など**西アジアの産油国**に，おもにインドから都市建設などの労働力として移住している。

②　正しい。**インド**は旧宗主国の言語である英語を準公用語とし，科学技術教育に力を入れているため，アメリカ合衆国などへ**ソフトウェア開発**などの技術者の移住が増えている。

④　正しい。なお，日系ブラジル人の出稼ぎ労働者が多いのは，中部地方や関東地方北部の輸送用機械・電気機械などの工場周辺である。

問４　正解は①

アメリカ合衆国は，1人当たりGNIが世界最高レベルであるうえ，約3億人の人口を抱えており，その国内消費市場の規模は圧倒的に世界最大である。そのため，工業製品やエネルギー資源の需要が大きく，それらの国内生産も多いが輸入にも依存することになる。

②　典型的な加工貿易国の**日本**である。なお，文中の「特定の穀物」とは米を指している。

③　文中の「豊富で安価な労働力」から，世界の工場となった**中国**とわかる。例えば鉄鉱石の生産量は世界第2位であるのに，その輸入は世界貿易量の約4割を占め世界一である。

④　産油国の**サウジアラビア**である。「国際機関」はＯＰＥＣ（石油輸出国機構）を指す。

問５　正解は⑥

ＡＳＥＡＮはミャンマー・ラオス・カンボジアなどの最貧国も含まれる発展途上国による統合なので，他に比べて1人当たり総所得は低い。しかし，域内随一の工業国・貿易国である**シンガポール**は1人当たりＧＮＩが上位先進国レベルであることに注意したい。よって**ク**に該当する。

ＣＩＳは旧ソ連の国々であり，ソ連崩壊の1つの要因は経済的な行き詰まりである。したがって，1人当たりＧＮＩのような指標では途上国並みの低位にある。ロシアは原油などの資源輸出によってＢＲＩＣsの一員として経済成長が期待されているが，今のところ一部の資本家が潤っているだけである。よって**キ**とわかる。

ＮＡＦＴＡは，アメリカ合衆国がカナダやメキシコとともに形成している自由貿易圏である。当然，経済的指標では上位にある。ただし，メキシコは工業化が進行しているとはいえ発展途上国であるから，アメリカ合衆国との経済格差は大きい。よって**カ**である。

問６　正解は②

タイはこの4カ国の中ではマレーシアと並んで工業化の進んだ国であり，ＡＳＥＡＮの中ではシンガポールに次ぐ2番手グループといえる。よって，①・②のいずれかであるが，タイは世界最大の米輸出国であり，農業国という側面も強い。首都バンコクは人口規模の突出した首位都市だが，逆にいえば他に大都市が発達しておらず，農村人口率の高い（都市人口率の低い）国である。

①　**マレーシア**である。国をあげてＩＴインフラの整備を進めている。

③・④ 区別は難しいが，③が**フィリピン**，④が**インドネシア**となる。この2国がＡＳＥＡＮの中では「3番手グループ」の位置にある。